

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年 テーマパーク科 テーマパークコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025 年度昼間部 2 年 テーマパーク科 テーマパークコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	19	22	14	14	69
合 計		25	30	16	17	88

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15								
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75								
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15									ビジネスコミュニケーション II	講	1	26
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	パソコン III	演	1	26	パソコン IV	演	1	26
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78
必修科目	テーマパーク接客英語	演	2	30	Theme Park English I	演	2	30	Theme Park English II	演	1	26	Theme Park English III	演	1	26
	テーマパーク接客手話 I	演	2	30	テーマパーク接客手話 II	演	2	30	テーマパーク接客手話 III	演	1	26	テーマパーク接客手話 IV	演	1	26
	ダンス演習 I	演	2	30	ダンス演習 II	演	2	30	ダンス演習 III	演	1	26	ダンス演習 IV	演	1	26
	パークオペレーション I	演	2	30	パークオペレーション II	演	2	30	パークオペレーション III	演	2	52	パークオペレーション IV	演	2	52
	パルーンアート I	演	2	30	パルーンアート II	演	2	30	イベント演出 I	演	1	26	イベント演出 II	演	1	26
	エンターテインメント実務 I	演	1	15	エンターテインメント実務 II	演	1	15	エンターテインメントメイク I	演	1	26	エンターテインメントメイク II	演	1	26
	カラーコーディネート I	演	1	15	カラーコーディネート II	演	1	15	電話応対ベーシック	演	1	26	海外観光事情	講	1	26
	テーマパーク研究 I	演	1	15	テーマパーク研究 II	演	1	15	テーマパーク研究 III	演	1	26	テーマパーク研究 IV	演	1	26
	サービス接遇・社会人教養	講	1	15	フードオペレーション I	演	2	30	テーマパークマネージメント	講	1	26	フードオペレーション II	演	1	26
	ゲストサービス I	講	2	30	ゲストサービス II	演	2	30	イベントプロモーション I	演	2	52	イベントプロモーション II	演	2	52
	SNSマーケティング I	講	1	15	SNSマーケティング II	講	1	15	SNSマーケティング III	講	1	26	SNSマーケティング IV	講	1	26
	観光業界ガイド	講	1	15	企業実習	実	4	120	韓国語/中国語 I	講	1	26	韓国語/中国語 II	講	1	26
	身だしなみ講座	演	1	15												
	小計		19	285	小計		22	390	小計		14	364	小計		14	364
計	1年前期 合計		25	375	1年後期 合計		30	510	2年前期 合計		16	416	2年後期 合計		17	442
	1年 合計						55	885	2年 合計						33	858
	2年間 総合計															
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 選考対策セミナー I・II 中村学園祭 研修旅行				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭			

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキル			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：宮崎 愛子・愛澤 純子・野田 てるみ				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的な PC 操作を理解するとともに、Word Excel の基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USB メモリ				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 26 時間 後期 : 26 時間
担当	講師名 : Native teacher				
	実務経験 : 有・ ☐ 無	実務経験内容 :			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :				
教科書教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Asking about & giving prices		6 Talking about past events		
	7 Bargaining for a lower price		7 Asking about past events		
	8 Talking about frequency		8 Introducing news & reacting to news		
	9 Describing features		9 Talking about future plans		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース 2 年生			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期： 1 単位	時間数	後期： 26 時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本 2 ・ 3 級 新星出版社（1 年次購入済み）				
授業計画	1 年金・税・保険の知識				
	2 組織（役職）と部門について				
	3 慶弔に関する知識とマナー				
	4 領収書の記入方法				
	5 その他ビジネス用語				
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換				
	7 上座・下座				
	8 企業訪問 実践ロールプレイ				
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方				
	10 電話応対 実践ロールプレイ				
	11 上手な聞き方、話し方				
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

テーマパークコース

専門科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Theme Park English Ⅱ ・ Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間 後期 ： 26 時間
担当	講師名：Robert Endo-McCabe				
	実務経験 ： 有 ・ ☐ 無	実務経験内容：			
授業概要	To further develop English skills for situations arising in a theme park setting				
到達目標	To help students increase confidence in using English with a native speaker				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Theme Park English (original text)				
授業計画	1 Restaurants information and special dietary needs		1 Souvenir shop service		
	2 Street directions and location		2 Helping a lost child		
	3 Taking Fast Food orders		3 Getting information from lost child		
	4 Completing orders (additions)		4 Asking parent about a lost child		
	5 Greeting guests in a restaurant and meeting needs		5 Getting a description of lost child		
	6 Explaining restaurant seating and waiting times		6 Making lost child announcement		
	7 Waiting on guests/ answering requests		7 Giving public transport information		
	8 Guiding guests in small areas		8 Giving Street directions		
	9 Taking orders in a restaurant		9 Asking about lost items		
	10 Asking about diner's preferences		10 Discussing patterns and designs		
	11 Explaining the Buffet		11 Arranging lost item return / making a survey		
	12 Food allergies and service		12 Planning pick up of item and telephone survey		
	13 Review of semester		13 Review of semester		
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance and classroom attitude and effort.				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	接客手話Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：飯塚佳代				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学んだ上で、幅広い会話ができることを目指して、手話技能検定 3 級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。				
到達目標	1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて幅広い会話ができるようになる。				
検定資格	なし・必修・(任意) 名称：手話技能検定 3 級または 4 級				
教科書教材	手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1、3 級単語：趣味・ロールプレイ・指文字練習		1、3 級単語：社会②・ロールプレイ・指文字練習		
	2、3 級単語：食べ物・飲み物・ロールプレイ・指文字		2、3 級単語：感情・性格・態度①・ロールプレイ・指文字		
	3、3 級単語：教育・ロールプレイ・指文字練習		3、3 級単語：感情・性格・態度②・ロールプレイ・指文字		
	4、3 級単語：自然・科学・ロールプレイ・指文字練習		4、3 級単語：感情・性格・態度③・ロールプレイ・指文字		
	5、3 級単語：乗り物・建築・ロールプレイ・指文字練習		5、3 級単語：動詞①・ロールプレイ・指文字練習		
	6、3 級単語：時間・距離・金額等・ロールプレイ		6、3 級単語：動詞②・ロールプレイ・指文字練習		
	7、3 級単語：国名・地名・ロールプレイ・指文字練習		7、3 級単語：動詞③・ロールプレイ・指文字練習		
	8、3 級単語：形容詞・副詞・ロールプレイ・指文字練習		8、3 級単語：動詞④・ロールプレイ・指文字練習		
	9、3 級単語：生活①・ロールプレイ・指文字練習		9、3 級単語：動詞⑤・ロールプレイ・指文字練習		
	10、3 級単語：生活②・ロールプレイ・指文字練習		10、3 級単語：接続詞・助詞・固有名詞・ロールプレイ		
	11、3 級単語：医療機関・ロールプレイ・指文字練習		11、ゲストを迎える準備		
	12、3 級単語：社会①・ロールプレイ・指文字練習		12、ゲストティーチャーとの交流		
	13、試験返却&振り返り		13、試験返却&振り返り		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ダンス演習Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：後藤 大				
	実務経験：有	実務経験内容：専門学校、スポーツ施設にダンスと体操指導実務経験有り			
授業概要	テーマパークではキャストの接客もショーの一部。接客によるエンターテインメントの重要性、また接客での所作、表現力等をダンスを通し習得する。テーマパーク、児童施設などでのレクリエーションの指導法の習得。ストレッチ運動、リズム運動、ダンス基礎の習得。				
到達目標	テーマパークでの接客実技の習得。自己表現の向上。 レクリエーションダンス指導の習得、発表。 ダンス基礎、実技の習得、発表。				
検定資格	なし				
教科書教材	無し				
授業計画	1 ウォームアップ		1 ウォームアップ②		
	2 リズム体操、ダンスステップ		2 リズム、ステップ応用		
	3 ジャズダンスの基礎トレーニング		3 ジャズダンスの基礎トレーニング②		
	4 ストレッチ		4 ストレッチ、筋肉トレーニング		
	5 ジャズダンスのテクニック技術練習		5 テクニック技術向上、解釈		
	6 テーマパークダンスの振付を覚える		6 ダンス振付習得、踊りこみ、振り固め		
	7 音に合わせて踊る		7 動画等での客観的自己分析		
	8 踊りながら笑顔で踊るなど表現力を高める		8 業界用語など覚え外部適応力を高める		
	9 個々に合わせ他ジャンルの研鑽、体験		9 他ジャンルの研鑽、自由研究		
	10 レクリエーションダンス指導法		10 レクリエーションダンス指導法②		
	11 レクリエーションダンス創作		11 レクリエーションダンス創作の応用		
	12 ダンス演習・理解度試験実施		12 ダンス演習・理解度試験実施②		
	13 身体の基本知識とケア		13 身体の基本知識とケア②		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	パークオペレーションⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：長谷川 慶太				
	実務経験： (有) ・ 無	実務経験内容：テーマパーク業界にて約7年間時間帯責任者として勤務経験あり			
授業概要	KHPを通して1から作り上げる難しさ お子様へのティーチング方法を身に着ける				
到達目標	・ゲストの前に出た際にその場の雰囲気を壊すことなく しっかりとした対応やキャスト・クルー・スタッフとして対応ができるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	1 KHP 概要説明		1 KHP 振返り		
	2 KHP 概要説明		2 冬季開催に向けて内容精査		
	3 KHP 概要説明		3 冬季開催に向けて内容精査		
	4 KHP 準備		4 KHP 準備		
	5 KHP 準備		5 KHP 準備		
	6 KHP 準備		6 KHP 準備		
	7 KHP 準備		7 KHP 準備		
	8 KHP 準備		8 KHP 準備		
	9 KHP 準備		9 KHP 準備		
	10 KHP 準備		10 KHP 準備		
	11 KHP 準備		11 KHP 準備		
	12 KHP 準備		12 KHP 準備		
	13 KHP 準備		13 KHP 準備		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	イベント演出Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：永島 さおり				
	実務経験：有	実務経験内容：舞台イベントやパーティーセレモニー、企業や店舗等においての生演奏、音楽企画演出を手がける。映像音響処理技術者資格保有。			
授業概要	舞台やイベントにおいて重要な役割を持つ「音」による演出。膨大な数の楽曲や効果音の中から、場面のイメージに合った音を選んで使用します。授業では、「音」や「楽曲」についての知識を深めながら、効果的な演出をする上で必要な技術や感覚を身につけます。演習では音響機材を使用し、接続や操作方法の基礎を学びます。				
到達目標	・イベントの進行や舞台の台本に合わせて音の配置や選曲をすることができる ・音響機材の基本的な操作ができる				
検定資格	なし				
教科書	オリジナルテキスト、参考資料配布				
授業計画	1「楽曲」や「音」による演出効果				
	2 音楽に関する基礎知識（ジャンルに関する知識 / 楽曲をイメージづける要素・構成を知る）				
	3 舞台やイベントを構成する音				
	4 音の素材に関する基礎知識				
	5 聴覚と心理現象				
	6 音の伝播について				
	7 様々な場面や風景に音をつける（個人発表）				
	8 音響機材に関する基礎知識（用語 / 接続 / 操作）				
	9 音響台本の作成				
	10. 幕間の重要性 / 開演前、終演後の演出				
成績評価方法	11 著作権に関する知識				
	12 制作発表会に向けて（音源の準備、音響台本の作成等）				
	13 イベント演出 授業のまとめ				
成績評価基準	下記評価基準に基づく（授業、実技発表取り組み姿勢による加点減点あり）				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優				
	B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良				
	C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可				
	D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	エンターテイメントメイクⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	塚田 たみ子				
	実務経験：有・無	芸能(TV やステージ等)・出版業界にて出演者やアーティストにメイク業務実績あり。各方面でメイク関連の講習会や、各種学校の講師活動を20 数年間行っている。			
授業概要	社会人の身だしなみとして、好感度をアップするメイクアップの技術を学びます。 エンターテイナーとしてのパフォーマンスに欠かせない様々なメイクアップを体験し、目的やシーンに応じて活用できるよう、実習を通して学びます。				
到達目標	様々な種類のフェイス&ボディーアートの技術を学び、イベント時などに提案や応用ができる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	メイク道具一式（AQ 8color palette、メイク用筆セット）				
授業計画	【フェイス&ボディーペイント】 <基本編> 材料と道具、用途を理解する 筆の使い方、絵具の使い方、道具の扱い方などを習得し、ワンポイント～フェイス&ボディーペイント各種に技術を発展させる アニマルメイクアップ クラウンメイクアップ等 <応用編> ハロウィン、クリスマス、卒業制作など、各イベントシーンに応用する技術を学ぶ 【ボディージュエリー】 材料や道具、用途を理解する ペーパーと肌に対して使用する材料の使い分けを理解する。転写方法、グラデーション、アウトライン、3D など様々な描き方を学び、目的に応じてより美しく描く技術を学ぶ 【ヘナ・タトゥー】 ヘナタトゥーの意味や歴史、材料や道具、用途を理解する。ヘナパウダーからペーストの作り方、コーンの作り方、デザインの持つ意味なども理解し美しい描き方を学ぶ 一時的なタトゥーとして人気の高い、ヘナタトゥーの感触や色の推移など実際体験する 【ホワイトヘナ】 ヘナタトゥーの柄をホワイトのペイントで行う技術を学ぶ 応用性と人気が高いホワイトヘナの様々な美しい描き方を学ぶ 【作品制作発表会】 授業で学んだ様々な技術を集約し、イメージに合わせた作品を制作し、発表会を行う 【実技テスト実施】 1 年間を通じ、フェイス&ボディーペイント、ボディー・ジュエリー、ヘナ・タトゥー等の実技テストの実施				
成績評価 方法	授業内で分野ごとに実技試験を行い、学期末には評価試験を行う。 全ての実技テスト及び評価テストで判断する。出席状況、授業参加意欲も評価される。				
成績評価 基準	A：授業内期末試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業内期末試験 75 点以上、出席率 75%以上、平常点良好 C：授業内期末試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業内期末試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	電話応対ベーシック			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名： 岸田 輝美				
	実務経験：㊦・無	実務経験内容：電話応対・社内マナー講師実務経験。現在は研修会社取締役			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。				
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対、信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチ X」でトレーニングをして即戦力を目指します。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：電話応対技能検定 4 級				
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック（ビューティフルマナー株式会社出版） 前向きな言葉の作り方実践ワークブック（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）				
授業計画	1 前向きな言葉を意識する・状況を受け止め表現する				
	2 状況の捉え方を変え表現する・可能なことを提案する				
	3 自分自身を励ます・自分の一言目を変える				
	4 日本語の特徴（話す・聞く）・敬語の基本を学ぶ				
	5 敬語の基本を学ぶ・相手の心理状態をプラスにする言葉				
	6 電話応対の基本				
	7 電話応対の基本（かける）				
	8 電話応対の基本（受ける）				
	9 【実践電話応対】 取次 台本作り				
	10 【実践電話応対】 取次 実技				
	11 実践電話応対】 感謝をイメージする 台本作り				
	12 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技				
	13 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	テーマパーク研究Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：長谷川 慶太				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：テーマパーク業界にて約7年間時間帯責任者として勤務経験あり			
授業概要	テーマパーク業界の基本知識を講義形式で習得				
到達目標	テーマパーク業界の形態 サービス内容の把握				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	1 テーマパークにおける安全に関して		1 テーマパーク業界のか関わり方		
	2 テーマパークにおける安全に関して		2 テーマパーク業界のか関わり方		
	3 1,2 年合同授業		3 テーマパーク業界のか関わり方		
	4 1,2 年合同授業		4 テーマパーク業界のか関わり方		
	5 テーマパークにおける安全に関して		5 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	6 テーマパークにおける安全に関して		6 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	7 カンドゥー研修		7 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	8 カンドゥー研修		8 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	9 カンドゥー研修		9 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	10 カンドゥー研修		10 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	11 カンドゥー研修		11 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	12 カンドゥー研修		12 テーマパーク研究(TDR 以外)		
	13 研修振り返り		13 テーマパーク研究(TDR 以外)		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	テーマパークマネジメント			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 26 時間
担当	講師名：石神 直人				
	実務経験 有 無	テーマパークにてテーマパークスタッフ及びスタッフ教育者として実務経験あり。			
授業概要	前半ではテーマパーク管理部門の仕事内容を確認し、利益の出し方またなぜ利益が必要なのか考える。後半では模擬店の計画（原価利益計算・レジ設定等）を実施し、軽食調理・オペレーション構築を行う。				
到達目標	・ 損益計算/貸借対象表の見方 ・ 模擬店の計画および運営				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	無し				
授業計画	1 テーマパーク管理部門およびマネジメント業務内容・役割説明				
	2 損益分岐点・貸借対照表説明				
	3 管理者ケーススタディ①（接客イレギュラー対応等）				
	4 管理者ケーススタディ②（労務管理等）				
	5 模擬店計画① 損益計算・原価率計算等、データを元に検証。PDCA サイクル表計画				
	6 模擬店計画② 模擬店計画内容考案・プレゼンテーション作成				
	7 模擬店計画③ 模擬店計画内容考案・プレゼンテーション発表				
	8 模擬店計画④ オペレーション考案・レジ設定等				
	9 模擬店演習① 軽食調理・及び提供演習				
	10 模擬店演習② 軽食調理・及び提供演習				
	11 模擬店演習③ 軽食調理・及び提供演習				
	12 まとめと振り返り①				
	13 まとめと振り返り② PDCA サイクル表まとめ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	イベントプロモーションⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：上村海音				
	実務経験：有	実務経験内容：高校時代に演劇コース、演劇部に所属し様々な舞台に立つ。 テーマパーク業界、エンターテインメント部門にて勤務実績あり。			
授業概要	2 月に行われる、成果発表のための計画、制作、運営を学生主体で行う。				
到達目標	成果発表を成功させよう！				
検定資格	なし				
教科書 教材	なし				
授業計画	1 オリエンテーション		1 立ち稽古 振付⑦		
	2 観劇①		2 立ち稽古 振付⑧		
	3 観劇②		3 立ち稽古 振付⑨		
	4 観劇③		4 立ち稽古 振付⑩		
	5 オリジナル作品の企画と製作		5 本番に向けた最終確認①		
	6 脚本の製作 音楽の選出 小道具の製作開始		6 本番に向けた最終確認②		
	7 配役スタッフの選出 スケジュールリング		7 通し稽古①		
	8 立ち稽古 振付①		8 通し稽古②		
	9 立ち稽古 振付②		9 本番想定したゲネプロ①		
	10 立ち稽古 振付③		10 本番を想定したゲネプロ②		
	11 立ち稽古 振付④		11 本番を想定したゲネプロ③		
	12 立ち稽古 振付⑤		12 本番を想定したゲネプロ④		
	13 立ち稽古 振付⑥		13 本番想定したゲネプロ⑤		
成績評価 方法	授業参加意欲を平常点として評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 100%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 90%以上、平常点 B C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 D				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	SNS マーケティングⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：長谷川 慶太				
	実務経験： ⑦ ・ 無	イベント業界・ブライダル業界で SNS を使用した集客経験あり			
授業概要	KHPを通して1から作り上げる難しさ お子様へのティーチング方法を身に着ける				
到達目標	・ゲストの前に出た際にその場の雰囲気を壊すことなく しっかりとした対応やキャスト・クルー・スタッフとして対応ができるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	1 SNS の調査,動向を学ぶ		1 SNS 用撮影・編集		
	2 SNS の調査,動向を学ぶ		2 SNS 用撮影・編集		
	3 SNS の調査,動向を学ぶ		3 SNS 用撮影・編集		
	4 SNS の調査,動向を学ぶ		4 SNS 用撮影・編集		
	5 SNS 用撮影・編集		5 SNS 用撮影・編集		
	6 SNS 用撮影・編集		6 SNS 用撮影・編集		
	7 SNS 用撮影・編集		7 SNS 用撮影・編集		
	8 SNS 用撮影・編集		8 SNS 用撮影・編集		
	9 SNS 用撮影・編集		9 SNS 用撮影・編集		
	10 SNS 用撮影・編集		10 SNS 用撮影・編集		
	11 SNS 用撮影・編集		11 SNS 用撮影・編集		
	12 テスト対策		12 テスト対策		
	13 テスト復習		13 テスト復習		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

2025 年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II			科目区分	選択科目
対象	エアライン科 ・ テーマパーク科 ・ 観光科			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間 後期 ： 26 時間
担当	講師名： 渡部 茂				
	実務経験： 有 ・ (無)	実務経験内容：			
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。				
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称： ハングル検定 ・ 韓国語能力検定				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説」 渡部 茂 著				
	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで		1.基本的な会話（初対面の挨拶等）		
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）		2.日常会話（I T H Bで何を学んでいますか等）		
	3. 音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）		3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）		
	4. 数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1 と一）		4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）		
	5. 指示代名詞と疑問詞		5.ホテル内での会話（予約と応対等）		
	6. 助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）		6.交通と乗り物（I T H Bまで行って下さい等）		
	7. 用言の活用（です・ます）		7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）		
	8.文中の連体形と連用形		8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）		
	9.待遇表現(丁寧語・謙譲語・尊敬語等)		9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）		
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）		10.看病・介護・病気等の表現		
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比		11.人生の一生の出来事表現		
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞		12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現		
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）		13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 優 B： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 良 C： 評価試験 60%以上、 出席率 60%以上、 平常点 可 D： 評価試験 60%未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ ☐	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します，後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に近い中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ，来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	イベント演出 II			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 26 時間
担当	講師名：松島 雄二				
	実務経験 : 有	実務経験内容：・企業, イベント, 婚礼にて 5 年以上の撮影経験あり			
授業概要	・近年、動画を使った広告宣伝や情報発信はどの業界においても大切な位置付けとなっている。動画に関する知識の習得や、実際に撮影編集を通して制作の流れを体験することで社会人としての情報発信能力の向上をはかる。				
到達目標	企画から撮影・編集までの基本的な流れを理解し、一人でも制作可能な力を身につける。				
検定資格	なし				
教科書教材	なし				
授業計画	1：動画の特徴や制作に関する知識やテクニックの講義				
	2：実際の現場撮影資料や映像による動画制作の流れを理解する				
	3：スマートフォンの動画編集アプリの使い方と撮影				
	4：スマートフォンを使った簡易的な編集と上映、成果発表				
	5：実際の現場撮影資料による企画立案と映像構成の基礎を理解する				
	6：チームに分かれてテーマに沿った映像制作①_企画、構成作成				
	7：チームに分かれてテーマに沿った映像制作①_撮影、編集				
	8：チームに分かれてテーマに沿った映像制作①_編集、上映				
	9：チームに分かれてテーマに沿った映像制作①_上映、成果発表				
	10：チームに分かれてテーマに沿った映像制作②_企画、構成作成				
	11：チームに分かれてテーマに沿った映像制作②_撮影、編集				
	12：チームに分かれてテーマに沿った映像制作②_撮影、編集				
	13：チームに分かれてテーマに沿った映像制作②_上映、成果発表				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	海外観光事情			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 26 時間
担当	講師名：石松				
	実務経験： ☐ 有・無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	①日本にあるテーマパークや、ディズニー映画がモチーフとしている景観・文化・食など ②世界のテーマパーク所在地 の2 点を中心に、世界の観光情報の基礎を学びます。 また、ユネスコの世界遺産や宗教の基礎なども、授業の要素として取り入れます。 なお、履修の順番や内容は、一部変更になる場合があります。				
到達目標	テーマパーク科として学ぶ内容に関連する、世界の主だった国の文化、観光情報や世界遺産について、基礎的な知識を持つことができる。 世界の渡航先に関して、興味を持つことができる。				
検定資格	☐ なし	・ 必修	・ 任意	名称：	
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界 （帝国書院） プリント適宜配付				
授業計画	1 授業ガイダンス / 地図を理解する（図法、緯度・経度の特性、大陸、地域）				
	2 東アジア（韓国・台湾・香港とマカオ・中国）				
	3 東南アジア（タイ・シンガポール） / 南アジア（インド）				
	4 その他アジアの世界遺産 / 中東（サウジアラビア・UAE） / イスラム教の基礎				
	5 中東（イスラエル・トルコ） / 西ヨーロッパ（英国・フランス）				
	6 西欧（オランダ・ベルギー・ドイツ・スイス・オーストリア）				
	7 南欧（スペイン・ポルトガル・イタリア・ギリシャ）				
	8 北欧（フィンランドなど） / その他ヨーロッパの世界遺産				
	9 アフリカ（エジプト・ケニア・タンザニア・その他アフリカの世界遺産）				
	10 北米（カナダ・アメリカ合衆国）				
	11 中南米（メキシコ・ベネズエラ・その他中南米の国の基礎） / オセアニア（ハワイ）				
	12 オセアニア（オーストラリア） / 期末試験前のまとめ				
	13 定期試験返却と解説 / カリブ海クルーズ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点 優 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	フードオペレーションⅡ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 26 時間
担当	講師名：石神 直人				
	実務経験 有 無	テーマパークにてテーマパークスタッフ及びスタッフ教育者として実務経験あり。			
授業概要	前半では模擬店の計画（原価利益計算・レジ設定等）を実施し、軽食調理・オペレーション構築を行う。 後半は酒類の知識およびバースキルを身に付ける。				
到達目標	・ 模擬店の計画および運営・アルコール類の基本知識習得 ・ スタンダードカクテルレシピ習得作成				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	無し				
授業計画	1 模擬店計画①		損益計算・原価率計算等、データを元に検証		
	2 模擬店計画②		模擬店計画内容考案・プレゼンテーション作成		
	3 模擬店計画③		模擬店計画内容考案・プレゼンテーション発表		
	4 模擬店計画④		オペレーション考案・レジ設定等		
	5 模擬店演習①		軽食調理・及び提供演習		
	6 模擬店演習②		軽食調理・及び提供演習		
	7 酒類の知識①		醸造酒・蒸留酒 及び名称・特徴		
	8 酒類の知識②		スピリッツ 種類及び特徴		
	9 酒類の知識③		リキュール 種類及び特徴		
	10 バー実務演習①		バーツール説明 及び バー実技演習		
	11 バー実務演習②		バー実技演習 及び カクテル作成		
	12 授業復習		販売知識および酒類知識復習		
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				